



ETC の利用状況 (西原 IC)

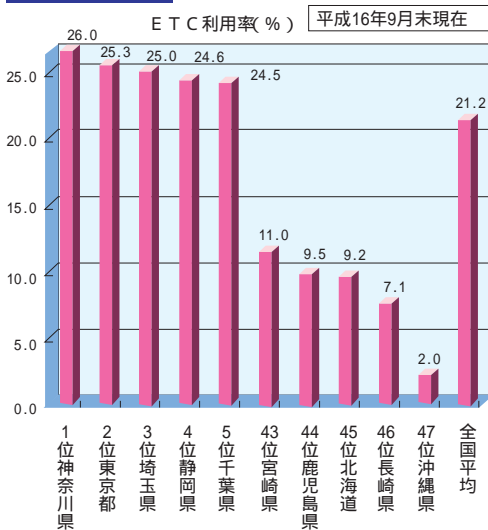
ETC 利用の現状

ETC 利用率 料金所における ETC 利用車の割合は、平成十六年九月末現在全国平均で二十一・二%です(平成十六年十二月九日現在の速報では二十・五%まで増加しています)。地域別にみると、関東・東海地区が高く、九州・東北地区が低く沖縄は全国最下位です。

ETC 利用の促進について

道路行政においては、高速道路の料金所における渋滞緩和、解消を図ること等を目的として、ETC 利用の促進を図っています。

ETC 利用率



スマートICの導入

今後、ETCの普及が進めば、建設・管理コストの削減が可能なスマートIC(インターチェンジ)の導入が可能になります。これにより、ICを倍増し、利便性の向上、既存IC周辺の渋滞緩和等が図られます。

平成十六年度の目標

沖縄においては、平成十六年度道路行政の業績計画書において、平成十六年度のETC利用率(目標値)を、平成十五年全国平均値である十六%にしています。平成十六年九月末現在二・〇%と厳しい状況ではありますが、新しい料金割引制度のPRを図り目標達成を目指しております。

ETC利用車に新しい料金割引制度が登場

当道路区では、道路利用者に対しては、ETC利用車に新しい料金割引制度をスタートさせます。基本となる割引は、利用実績に応じた割引(二種類)と利用時間帯に応じた割引(三種類)です。利用時間帯に応じた割引と利用実績に応じた割引を重複適用させることも可能です。また、各料金割引制度には、料金還元の特典(台数限定)もあります。



導入手続きの流れ ① ETC利用車(ETC利用車)の登録 ② 割引制度の適用 ③ 割引制度の適用 ④ 割引制度の適用

ETC利用車(ETC利用車)の登録 ① ETC利用車(ETC利用車)の登録 ② 割引制度の適用 ③ 割引制度の適用 ④ 割引制度の適用

ETC利用車に新しい料金割引制度が登場

日本道路公団では、高速道路をETCで走行する車両を対象に、新しい料金割引制度をスタートさせています。基本となる割引は、利用実績に応じた割引(二種類)と利用時間帯に応じた割引(三種類)です。利用時間帯に応じた割引と利用実績に応じた割引を重複適用させることも可能です。また、各料金割引制度には、料金還元の特典(台数限定)もあります。